

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財団法人千葉県水産振興公社	県所管課	農林水産部水産局漁業資源課
代表者	理事長 山崎英夫	電 話	043-223-3035
所在地	千葉市中央区中央3-3-1フジモト第一生命ビルディング3階		
電 話	043-222-3181		
設立年月日	1994年6月1日		
ホームページ アドレス	http://www.chisuikou.jp/		
事業内容	(1)栽培漁業の推進に関する事業 (2)水産業の経営に安定に資する事業 (3)その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

1 出資等の状況(H27.4.1現在)

(単位:千円,位)

資本金(又は出捐金)	200,000
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	200,000	100.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H27.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体	県	
		市町村	
	国又は政府系機関		
	民間法人		
	その他		

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
総資産	1,850,326	1,943,128	1,040,807
負債	1,008,979	995,858	24,260
(うち有利子負債)	1,059	706	
純資産	841,347	947,270	1,016,547
累積損益(利益剰余金)	27,301	51,397	147,319

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	786,614	669,338	791,319
経常損益	231,701	17,935	8,624
当期損益	232,378	24,097	95,921
減価償却前当期損益	236,539	30,777	100,126

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	24年度	25年度	26年度
借入金残高	131,637	119,813	0
うち県からの借入金残高	129,000	118,000	0
うち県以外からの借入金残高	2,637	1,813	0
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高	2,637	1,813	0

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
委託料	種苗生産事業等	148,601	148,320	153,723
補助金・交付金・負担金	栽培漁業推進体制整備促進事業等	61,842	55,544	37,727
合計		210,443	203,864	191,450

(2) その他

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項目	目的、内容、算出根拠等	24年度	25年度	26年度
委託料のうち再委託したもの	県単港湾整備委託(藻場造成調査)のうち潜水調査委託	302	303	350
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの	県単港湾整備委託(藻場造成調査)のうち潜水調査委託	302	303	350

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項 目	25年度	26年度	27年度
常勤役員数	2	2	2
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員	1	1	1
常勤職員数	11	10	9
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員	6	5	5

(2) 役職員の平均年収等の状況

項 目	25年度	26年度	27年度
役員数(県派遣又は県OB)	2人(2人)	2人(2人)	2人(2人)
役員平均年齢	59 歳	59 歳	57 歳
平均年収(千円)	8,213千円	8,659千円	8,442千円
職員数(県派遣又は県OB)	11人(6人)	10人(5人)	9人(5人)
職員平均年齢	51 歳	49 歳	44 歳
平均年収(千円)	7,193千円	6,416千円	5,958千円

① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

② 役職員数は実人員を記入してください。

③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※実人員の考え方

・4月に役員が4人いて、年度途中で2人交替し、年度末に4人であった場合の実人員は4人

・4月に役員が5人いて、10月から1人減り、年度末に4人であった場合の実人員は4.5人

※平成27年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	経営改善
改革方針(概要)	<p>22年度に策定した5年間の経営計画に基づいて、経営の安定化に取り組む。</p> <p>1 事業収益の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業の受託に努め、事業収入を増やし収益改善を図る。 ・マダイ・ヒラメを漁獲する漁業者や遊漁船案内業者からの協力金収入の安定化に努める。 ・優良品種ののり養殖種苗の生産配付により、事業収入の増加に努め、収益改善を図る。 ・農地保有合理化事業により中間保有している農地について、早期に売却先を確保し、長期保有地とならないよう努める。 <p>2 経費削減等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続性や効率性を考慮した事業執行体制を整備する。 ・事業の効率化を図り、事業経費や管理費の削減に努める。 ・県派遣職員の削減やプロパー職員の育成に努める。 <p>3 役割分担の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの県と公社との業務分担の効果を検証するとともに、今後の役割分担のあり方について検討する。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マダイ・ヒラメにおける負担協力制度を17年度から導入し、毎年度約8,000千円前後の収入を計上しており、26年度についても9,013千円と安定的に収入を得た。 ・のり養殖種苗の生産配布については、完製品18万枚の配布計画に対し、26年度配布実績は17.3万枚と計画数量を若干下回ったが、安定的に配布している。 ・事業の効率化を図り、事務経費や管理費の削減に努めている。また、県派遣職員の削減やプロパー職員の育成に努めている。
その他(特記事項等)	

* 平成24年3月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。